

トライボロジー研究室の紹介

★研究室の目指すもの

流体の流れを能動的にコントロールできる機械の表面設計※を通して、エネルギーロスや振動が小さい、快適で安全な機械を実現します。

※摩擦や流れの抵抗を引き起こす表面の設計



トライボロジーは動くもの、つまり、すべての機械に関わります。望んだ性能を得るためには、トライボロジーを知り、機械設計に生かすことが不可欠になります。

※流体工学の基礎的な研究も行うことができます。

★研究室で学べること



- 実験（実験装置の設計開発を含む）
- CFD 解析（ANSYS）
- 流体潤滑解析（計算コード開発を含む）
- 研究成果の発表（論文、国際学会、国内学会）
- 英語

★その他

- 大学院進学者は、海外の学会に参加し、口頭発表をしています。
- 国内外（日本、アメリカ、フランス、マレーシア）の大学と共同研究を行っています。
- 国内企業と共同研究を行っています。
- 英語は、レベルを問わず、“英語をできるようになりたい人たちが”集まって勉強しています。